





































「変態ご主人様、
突然、下半身全裸で出てきて
何がしたいんですか？」

そんな小さな租チンを
見せつけられても困ります」





「……………」

「はっ」
「はっ」
「はっ」

「またこんなに大きくして
どうするんですか？」

「はい？ヌイて欲しい？
仕方ないですね・・・」



「なんですかこのみっともない粗チンは
勃起してもいつまでも皮を被って……」
「早速、先っぽから汁がタしてききましたよ
だらしない粗チンですね」

ニギ

ニギ



「こんなに皮が余っていると
恥垢も溜まって不潔なんで
手術で取ってしまえばいいのですが」
「皮を剥きますよ?」

ギョッ





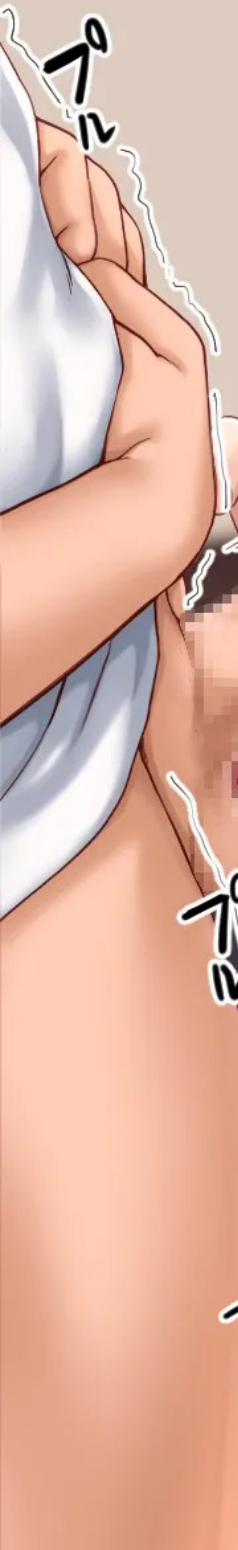
「はいっ！これでいいですか？」
「準備ができたんでこのまま
射精するまでシロシロしますよっ！」



「まったく変態主人の性処理は
拒否できない契約だから
仕方ないですけど」
「こんなこと毎回やらされたら
仕事になりません」



「んっ…服や体が汚れると困るので
出すときは言っと…」





「きゅっ!」

キッ
ッ

「なんで言ったとばかり
射精しているんですか？」

「これから外に行く用事があったのに
これでは出かけられないですよ」「

ド
ン
ド
ン
ド
ン



「もう、顔も服もベトベト…
着替えないと…」
「なにスッキリした顔を
しているんですか！」





「変態ご主人様、まだですか？」

「んっ？今度は服が汚れると
困るなら全裸になれって？」

「命令なら脱ぎますけど…」